

BERCニュース

BERC会員年次総会開く

18年度活動計画など承認

経営倫理実践研究センター(BERC)の第9回会員年次総会が、7月7日、南青山会館で行われた。BERC理事長の福原義春・資生堂名誉会長から開会の辞があり、引き続き、水谷雅一BERC会長から挨拶があった。

総会では、①17年度の活動状況報告②17年度決算に関する件③監査報告があり、満場一致で承認された。

さらに、18年度活動計画案と18年度予算案について提案と説明があった。活動計画案の骨子は、次の通り。

- (イ) 特別研究会の新設。これは従来の研究会、研究部会の2グループに加え、第3グループとして特別研究会が発足するもの
(ロ) 個別企業を対象とする、講演、指導、コンサルテーション等のニーズに
(ハ) 前年度まで配布していた日経・朝日2紙掲載の不祥事リストをホームページ掲載とする。
(ニ) 今年度は経営倫理賞を選定、授与する。同賞の受賞については、1回受賞後も再度対象になる。
(ホ) BERCニュースの

拡充。15号から、従来より2ページ増の6ページ建てにした。また配布先を増やすため発行部数を増刷する。

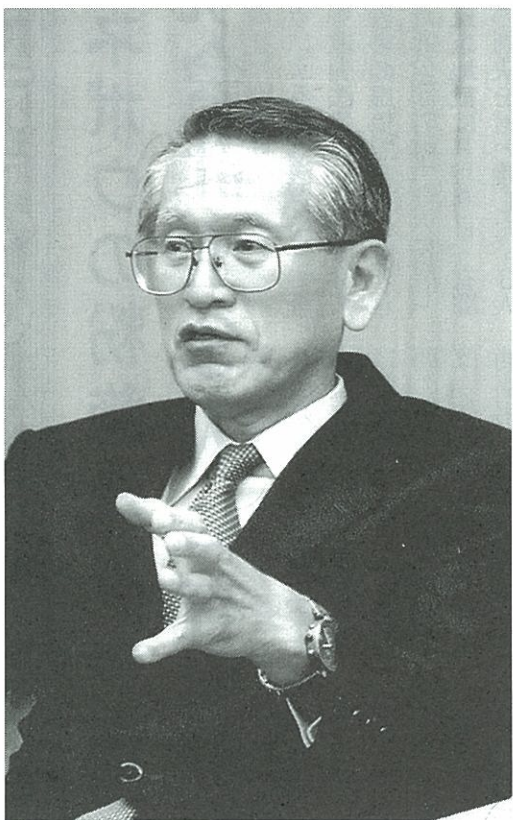
(ヘ) ホームページの強化拡充。BERCニュースと連動して幅広く情報発信していく。



南青山会館で開かれたBERC年次総会

トップが語る

三菱UFJ銀行頭取 畔柳 信雄さん



くろやなぎ・のぶお

東京都出身。東京大学経済学部卒業。1965年4月三菱銀行入行。システム部長、京橋支店長、取締役人事部長を経て、常務取締役米州本部長。04年6月頭取。64歳。

日本一の金融機関のトップとして倫理や法令遵守についてどう考えていますか？

いくら本部がマニュアルを整備しても現場の対応が適切でなければ、意味がありません。現場の力

を如何に高めるか、現場力

関西短期集中講座 日経・前田氏ら5人 新梅田でセミナー

第八期経営倫理・短期集中講座関西セミナーが、9月15日、新梅田研修センターで開かれる。セミナーは午前、午後の2部に分かれ、午前の部では、初めに、BERC先任研究員・梅津光弘氏から、講演「コーポレートバリュー向上のために」があり、続いて、日本経済新聞社大阪本社経済部編集委員・前田裕之氏が「最近の企業不祥事と今後の課題」をマスキミの視点から取り上げる。同セミナーでジャーナリスト

17号の紙面
BERCニュースは国内唯一の経営倫理・CSR専門紙
2面 「ニュース・インサイド」元会計士に有罪判決(カネボウの粉飾決算)
3面 「経営倫理」我が社の取り組み
4面 「アンクル」関西電力の海に浮かぶ企業PR館
5面 「視点」公取、金融庁が強い姿勢
6面 「回顧随想」ライフワーカーとしての経営倫理

現場からの改革に期待

私が皆に訴えていることは三つのことです。「サービス」「信頼性」「国際性」の三つの質をNO.1に高めようということです。サービスの向上について何か運動をしていますか? CS(お客様満足運動)を高めるには、現場力

いろいろな事ができるようになってきました。官から民への動きが出て来たという事です。そうしたときに自由と規律が必要になります。自分たちでチェックしなくてはなりません。官がまた規制を強めない為に自ら姿勢を正さなくては

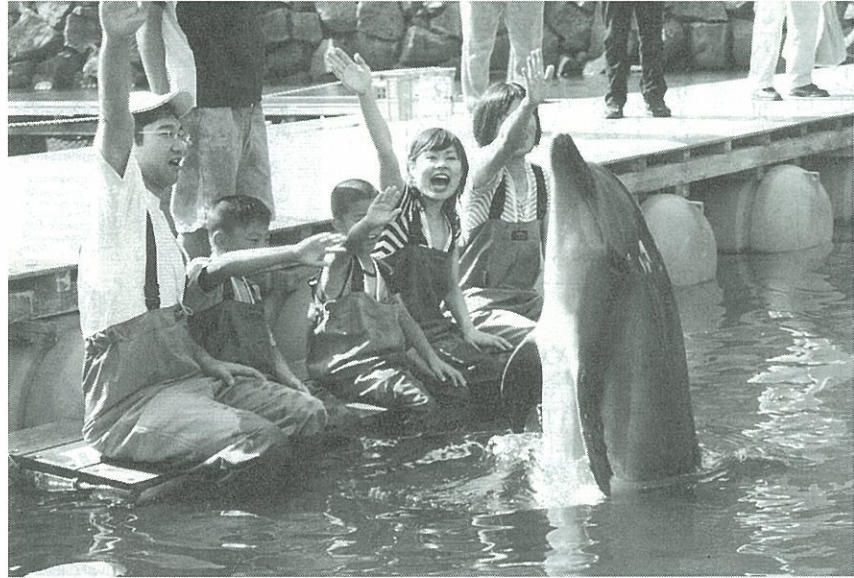
イルカ・キッズ・プロジェクト 両社の連携活動実る

水しぶきをあげてイルカが近寄ってくる。イルカと握手する子…。イルカと「チュン」とキスする子…。イルカとのふれあいに子供たちは、すっかり夢中だ。アサヒビールと三井住友海上両社の社会貢献合同活動が行われた、太地くじら浜公園(和歌山県太地町)での1コマ。

アサヒビール

三井住友海上

この両社による活動は「イルカ・キッズ・プロジェクト」。対象は児童養護施設の子供ら。様々な理由で親との生活が不可能となり、施設に入った子供たちだ。親子関係で、微妙なコミュニケーションを経験、特に信頼関係、安心感をボランティアに求めてくるケースが多いという。



近寄ってきたイルカに、手を上げてジャンプを指示する子どもたち(中央)。左右にボランティアがついている=太地くじら浜公園で

9年、アサヒビールでスタート。三井住友海上との合同活動は、2年目。異業種によるタイアップだが、ボランティア活動だからこそ出来た連携だ。今回の活動は、一泊二日、和歌山県太地町の国民宿舎「白鯨」で行われた。参加した児童は、関西地方の2施設より合計16名。社会福祉協議会を通じて募集したが、夏休み行事への参加が少ない児童を選び、参加してもらった。一方、ボランティアの大人は、36名。子供の安全確保のため、子供1人に対し、大人2人の割合だ。

太陽の光が燦々と降り注ぐ中、世界一大きい規模を誇る鯨博物館を訪れ、併設されたイルカ専用ビーチでイルカとのふれあいを体験。イルカを怖がり、触れない子供も中にはいたが、イルカと握手したり、キスをしたり…。「可愛かった。触ったら、ゴムみたいだった」と皆、笑顔が顔一杯に広がっていた。夜の花火大会では、サックス奏者の小林洋平さんが、潮騒の音をバックに「トトロ」のテーマソングなどを演奏した。2日目は、海水浴などを楽しんだが、安全を考え、バディ制(1人対1人)をとり、和やかな雰囲気の中、無事に終了した。

三井住友海上の大西菜穂子さんは、昨年からボランティア・リピーター。「当初は、子供の中に溶け込めないこともあったが、今は、子供たちの手の温もりからあたたかさをもっている」と話している。これまでの参加ボランティア延べ人数は、158名で、参加した子供の数は、104名に上る。

「参加している社員たちは、20代、30代がほとんどで、仕事も忙しい。週末はゆっくり休みたいはずだが、自主的に、ボランティア活動に取り組んでくれている。施設の子供たちに、人や動物とのふれあいの大切さを体験してもらった活動だが、大いに評価されていると思う」と、今回の活動を視察に訪れていたアサヒビール芸術文化財団常務理事の山本為久さんは、話している。

「アサヒビール」▽創業1949年▽資本金1825億円▽代表取締役社長 萩田伍▽従業員数 約3700人
「三井住友海上」▽創業1918年▽資本金1395億円▽取締役社長 江頭敏明▽従業員数 約13500人

「監査制度の信用失墜」

「カネボウの粉飾決算事件」 元会計士3人に有罪判決

三井住友
インサイド

公認会計士への信頼が大きく揺らいでいる。カネボウ

ウによる粉飾決算事件で証券取引法違反(有価証券報告書の虚偽記載)に問われた元公認会計士3人に対し、東京地裁は8月9日、有罪の判決を言い渡した。3人が所属していた中央青山監

査法人(9月1日に「みずほ監査法人」に名称変更)は、金融庁が命じた2カ月の業務停止の最中、判決は「会計監査制度への社会的信用を大きく失墜させた」と指摘した。

量刑は1人に懲役1年6カ月、執行猶予3年(求刑懲役1年6カ月)、2人に懲役1年、執行猶予3年(求刑懲役1年)。既に有罪判決が確定している同社元社長らと共に、2002年3

月期決算で800億円を超える債務超過を隠した。裁判長は判決理由で「カネボウの強い要請に抗し切れずに加担した。自己保身が動機で会計士の自覚に欠けた恥すべき姿勢」と述べた。

会計監査とは、企業の会計処理の適正性を裏打ちするものだ。経営者の勝手な都合で作られた数字ではないことを証明しているのが監査人たる会計士の適正意見。それが信用できないのだから、企業や市場の根幹にかかわってくる。

過去に目を移すと数多くの粉飾決算事件が起きている。主なものを拾うと山陽特殊鋼(1965年)、不二サッシ(78年)、リッカー(85年)、ヤオハンジヤパン(98年)など。不良債権の処理問題をめぐっては、護送船団方式の破たんとともに日本長期信用銀行、日本債券信用銀行も99年、事件化した。

事業法人の場合、業績悪化が明白になることで生じる融資の引き揚げや上場廃止を避けるのが動機で、根柢の希薄な業績回復期待から泥沼にはまるパターンだ。「証券取引法読本」(有

社会貢献活動の現場から

17

名。子供の安全確保のため、子供1人に対し、大人2人の割合だ。

太陽の光が燦々と降り注ぐ中、世界一大きい規模を誇る鯨博物館を訪れ、併設されたイルカ専用ビーチでイルカとのふれあいを体験。イルカを怖がり、触れない子供も中にはいたが、イルカと握手したり、キスをしたり…。「可愛かった。触ったら、ゴムみたいだった」と皆、笑顔が顔一杯に広がっていた。

夜の花火大会では、サックス奏者の小林洋平さんが、潮騒の音をバックに「トトロ」のテーマソングなどを演奏した。2日目は、海水浴などを楽しんだが、安全を考え、バディ制(1人対1人)をとり、和やかな雰囲気の中、無事に終了した。

三井住友海上の大西菜穂子さんは、昨年からボランティア・リピーター。「当初は、子供の中に溶け込めないこともあったが、今は、子供たちの手の温もりからあたたかさをもっている」と話している。これまでの参加ボランティア延べ人数は、158名で、参加した子供の数は、104名に上る。

「参加している社員たちは、20代、30代がほとんどで、仕事も忙しい。週末はゆっくり休みたいはずだが、自主的に、ボランティア活動に取り組んでくれている。施設の子供たちに、人や動物とのふれあいの大切さを体験してもらった活動だが、大いに評価されていると思う」と、今回の活動を視察に訪れていたアサヒビール芸術文化財団常務理事の山本為久さんは、話している。

「アサヒビール」▽創業1949年▽資本金1825億円▽代表取締役社長 萩田伍▽従業員数 約3700人
「三井住友海上」▽創業1918年▽資本金1395億円▽取締役社長 江頭敏明▽従業員数 約13500人

賞光

斐閣)によると、山陽特殊鋼事件を重く見た当時の大蔵省が有価証券報告書の審査を厳重にしたところ、数年間で170社の粉飾決算が発覚したという。

粉飾はまさに「社会的責任をわきまえない経営者にとって一種の麻薬」(リッカー事件判決)なのだ。そして、こうした経営者に毅然と立ち向かえない、あるいは専門知識を悪用する公認会計士がしばしば登場する。

「ライブドア監査人の告白」(ダイヤモンド社)を著した港陽監査法人の田中慎一氏も「ライブドアと我々港陽監査法人が陥った罠は誰に對しても口を開けて待つて「監査制度がさらに進化したとしても、試されているのは人間そのもの」と述べ懐いている。

格差社会でいいのか 好況の恩恵は誰に… 首相の姿勢へも批判

さらに重大なのは国民の暮らしに直結する経済面の施策で評価できるものがほとんどなかったことである。就任以前から叫び続けていた郵政改革は実行したが、党を割るような激しい異論が吸収できず、実施後のいまま言葉だけがカラ走りしている。明らかなのは郵政公社が今後JRのよう

「ライブドア監査人の告白」(ダイヤモンド社)を著した港陽監査法人の田中慎一氏も「ライブドアと我々港陽監査法人が陥った罠は誰に對しても口を開けて待つて「監査制度がさらに進化したとしても、試されているのは人間そのもの」と述べ懐いている。

経営者、会計士それぞれが、社会的使命感に基づいて、高度な職業倫理を求められている。

芥川賞を得た伊藤たかみ氏の「八月の路上に捨てる」はフリーター青年の話。若者の現代の風俗を描こうとする「ここに行き着くのか。出生率が一割り込んで、結婚できない若者たちが注目される。小泉首相は「格差があるのは仕方ないこと」と切り捨てたが、格差社会が進んでいることをそんなに軽く受け流す姿勢は許せない。

「朗」

パロマ事故 子会社製造のガス湯沸かし器 安全軽視のツケ…200億円

企業の存立基盤、揺るがす

子会社が製造したガス湯沸かし器による一酸化炭素中毒事故の多発を受け、パロマ(名古屋市中区)は有識者による第三者委員会を8月に設置し、今後さらに事故が起きた場合の自主回収の必要性の判断や事故防止のための組織改革などの検討を開始した。これに先立って、問題のあった機種を点検や無償交換などに200億円超の対策費が必要になることも明らかになったが、20年以上にわたって安全を軽視してきたツケは、*tsunagi*に膨らむことも予想される。

パロマ工業製の湯沸かし器で、1985年以来17件発生器で事故が多発している。し、合計15人が死亡したを、最初に指摘したのは監督官庁の経産省。同省は、れを受けて、同社は指摘

された以外にも10件の事故を把握、死者も5人増えた。と4日後に発表した。ところが、同社が同月31日に経産省に提出した事故調査報告書では、さらに件数が1件、死者が1人増えて、合計28件、21人となり、ずさんさが露呈。事故原因としては①安全装置の不正改造②部品の劣化や劣悪な使用環境の複合などを挙げ、「不正改造をパロマが指導、容認した事実はない。部品の劣化は構造的な欠陥では

「安全」が落ち込み、20年以上の間、消費者には危険性が知らされなかった。パロマ側は7月31日の会見で、問題のあった機種の見直しや無償交換、消費者への告知などの対策費が合計200億円超になる見通しを明らかにした。また、パロマ工業は「約3000人の人員を抱えているが、仕事がなくならないと、一部の人は辞めていただくことになる」と、人員削減は避けられないとの考えを示した。長期にわたる安全軽視のツケは、企業の存立基盤をも揺るがし始めた。(松)

BERC入会の御案内

経営倫理実践研究センター(BERC)では賛助会員の入会申し込みを受け付けています。BERCは、我が国初の経営倫理の実践研究専門機関です。企業不祥事、不正の防止や企業の社会的責任を果たすため、理念普及、教育研修のノウハウ提供、実践活動研究グループへの参加、会員社間の交流と情報交換など幅広い活動を進めています。▽年会費50万円
▽入会時に「経営倫理担当最高責任者」を登録する。
申し込み・問い合わせは経営倫理実践研究センター事務局へ。
電話 03(5413)5897
FAX 03(5413)5898

インタビュー 経営倫理 我社の取り組み ③



〈中外製薬〉 加藤 正人さん

社会責任推進部・課長

中外製薬ではミッション「世界の医療と人々の健康存在意義」として、「革新的に貢献する」を高く掲げている。その具体的な行動基盤を通じて新しい価値を創造

う行動していくのか示しているのが中外BCGです」と加藤さん。その推進組織として「企業倫理推進部」を設立、2003年には総務部環境室と統合して「社会責任推進部」となり、CSRに一元的に取り組む強力な体制が

そんな状況の中で、CSR理解のための冊子、49項目のQ&A集などを作成。啓発ツールとしてのポスターも製作し、社内の目に付くところに貼った。Q&A集では、「まずQを考え、総務、営業、研究、IT関連などの部署に訪ねて確認

し、Aの内容の妥当性」を掘り下げていった。2003年には代表取締役副社長を委員長とする「社会責任推進委員会」が設置され、CSRへの取り組みについて提案・審議されるようになった。毎年の全社員研修では推進委員が

「中外ビジネス・コンダクト・ガイドライン」を作られたのは2002年、日本ロシヤ社との合併直後だ。「新生・中外製薬のスタート時、企業の社会的責任を果たしステークホルダーの期待に応えうる企業でありたい。そのためにも

講師を務め、社会責任推進部とも連携するなど、全社的な動きとなっている。ところで加藤さんは中外製薬を一度退社、青年海外協力隊に加わって中国の湖北省で養蚕の技術指導にあたり、その後再入社したという経歴の持ち主。この2

年間「新しいことを進める時には問題はずきもの」自分で進めば道が開けていくと悟った。体験は今のCSR推進の中にも生かされている。「研修の中で、即効性を期待してはいけない。くり返し続けていく中で意識を高めていくことが大事です。社会は動いている。社会から何を求められているか、常に意識しなければいけませんね」加藤さんは熱っぽく語った。(根)

「中外BCG」を基本に

経営倫理も専門資格の時代!!

締め切り迫る 第10回『経営倫理士』資格講座

〈本年10月開講・毎月1~2回受講・来年7月終了〉

定員に達し次第 締め切ります

(問合せ先)
ダイヤモンド国際研 (03-3560-2141)
経営倫理実践普及協議会 (担当 小黑)

廣畑勇五郎館長(左)と伊東あゆみアテンダント。背景は「エル・マール まいづる」



アングル ③ 消費者との接点で

関西電力

海に浮かぶ企業PR館

エネルギー事情など解説

消費者向けの企業PR館がさまざまな形で各地に展開している。エンド・ユーザーといわれる一般市民向けには、各企業ともいろいろ工夫を凝らし、重点的に取り組んでいるが、その中で関西電力の「エル・マール まいづる」が注目されている。

「エル・マール まいづる」は、海に浮かんだ船舶型PR館だ。2004年夏、京都府舞鶴市の舞鶴親海公園内にオープン。豪華客船を模した四層構造で岸壁に接岸した形で新設されている。

「エル・マール まいづる」は、海に浮かんだ船舶型PR館だ。2004年夏、京都府舞鶴市の舞鶴親海公園内にオープン。豪華客船を模した四層構造で岸壁に接岸した形で新設されている。

同館では館長以下、来館対応のアテンダントら9人が勤務。

初代館長の廣畑勇五郎さんは、「幼い頃商船乗りが希望だった。ここでの勤務は、海の香がいついっしょに根の生えたPR活動をしたい」と話している。

同館では館長以下、来館対応のアテンダントら9人が勤務。

初代館長の廣畑勇五郎さんは、「幼い頃商船乗りが希望だった。ここでの勤務は、海の香がいついっしょに根の生えたPR活動をしたい」と話している。

豊高氏 松下電工から事例発表

〈CSR 関西研究部会〉

「企業は社会の公器」強調

BERCCのCSR関西研究部会が7月19日、松下電工本社で開催された。本年度第二回目。

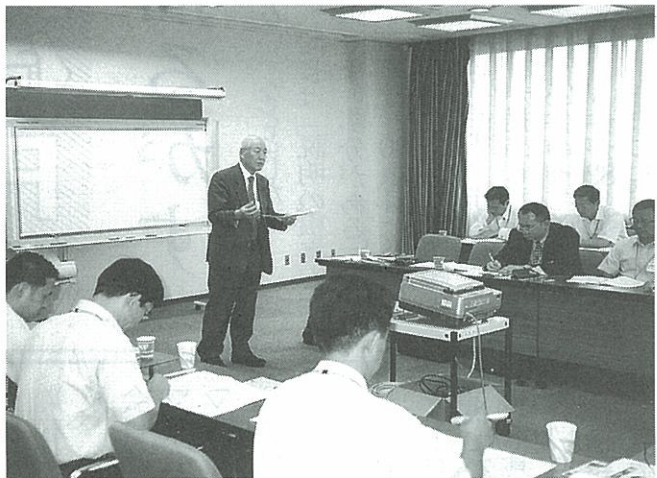
初めに田中宏司BERCC先任研究員が「ISOのSR規格化の動向」リスポン総会の主要な合意事項について講演。

ISOでは2005年に作業をスタート、08年秋にはSR規格を発行する予定だという。「第一世代の品質

規格(ISO9000)、「第二世代の環境規格(14000)を経て、「第三世代の社会的責任(CSR)規格(ISO26000)へと進んでいる。

CSRの共通する基本コンセプトは、①ステイナビリティ(持続的発展)②ステークホルダーとの対話・コミュニケーション③「経済」「社会」「環境」のトリプルボトムラインに集約できる。5

列島インフォメーション



内部統制などを討議 グループワーク活動 関西生産性本部

的、経済的、倫理的、社会的貢献(4つの責任)を横軸にして、この責任を果たすために本社部門が実践していくシステムだ。

また「行動規範」を制定し、コンプライアンス・プログラム推進組織が全従業員を対象に研修を実施、

⑤内部通報制度の実践⑥従業員の10%を対象にしたコンプライアンスアンケート、などで浸透を図っている。

また「行動規範」を制定し、コンプライアンス・プログラム推進組織が全従業員を対象に研修を実施、

⑤内部通報制度の実践⑥従業員の10%を対象にしたコンプライアンスアンケート、などで浸透を図っている。

但木検事総長が会見 曲がり角の犯罪 経済分野で多発

記者レポート

9月4日からライブドア事件の初公判が始まった。今世紀の経済事件として世論の高い関心を集めている。メディアの報道ぶりも過熱気味。

新任の但木敬一検事総長が、着任2カ月後の記者会見をした(8月25日、日本記者クラブ)。同検事総長は「かつて夫婦げんかは、犬も食わない」といわれ、事件にはならなかつたが、今やDV法で捜査対象になる時代だ。家庭生活から経済活動まで、司法の担当範囲は広がっている。また規制緩和が一気に進んだので、セーフティネットが不完全なままクレイジーが広がっている。曲がり角の犯罪が多発しているのが経済分野。株がらみの不正行為などでは、大衆投資家が最後にババを引かされているのが実態」と跡絶たぬ経済事犯について、検察トップとして分析していた。(S)



環境めぐる世界動向

第1回地球環境セミナー

第1回地球環境セミナー(かながわ学術研究交流財団・地球環境戦略研究機関共催)が8月29日、横浜ビジネスパークで開かれた。本セミナーは、地球環境戦略研究機関(IGES)の研究成果や環境問題をめぐる世界の動向をテーマに、環境問題へのアプローチについてわかりやすく解説すること、企業の取り組みをサポートすることを目的としている。

セミナー講師は、IGESの研究員をはじめ三菱東京UFJ銀行の中小企業担当者など4名。

セミナーでは、最近の企業はCSRを一時的なブームとして捉えていたり、CSRの概念を雇用や一般的な社会貢献として限定的に捉えていたりという問題点が指摘された。また、一般的に環境への影響が低いと考えられてきた金融業が融資を通じて間接的に環境負荷低減に貢献するといった仕組みも紹介された。

金融、生・損保の不祥事続く

公取、金融庁が強い姿勢

視点

銀行と生保・損保での不祥事が多発している。銀行や生・損保は今まで不良債権の処理で追われていたの、こうした不祥事まで手が回らなかつたのか。公正取引委員会と金融庁が強い姿勢で対策に乗り出している。

公取はみずほ銀行に対して、通常よりも有利な金利を適用した住宅ローン商品を販売した時に、金利を毎月見直すことをパフレットに目立つように表示しなかつたのは景品表示法違反(有利誤認)に

あたるということで警告した。この警告を受けて、金融庁は約1800の金融機関に対して「金利で誤解されないような広告をするように」と要請した。こうした広告について一斉に要請したのは初めてである。公取は05年12月に、三井住友銀行が金融派生商品(デリバティブ)を融資先に強制的に購入させたとして独占禁止法違反に当たると排除勧告を出した。この公取の処分を受けて金融庁は06年4月に三井住友銀行に対して法人営業部による金融派生商品の6カ月間の販売停止とした。

また損保ジャパンについても06年5月に保険金の不払いなどで損保商品の販売を2週間停止する処分をした。さらに06年6月には三井住友海上保険に対して、医療保険などで払うべき保険金を払わなかつたとして医療保険の新規契約を7月10日

から無期限の停止、新規の損保契約について同日から2週間の停止処分を出した。

このほか、消費者金融のアイフルに対して06年4月に全店での業務停止命令を出し、同年8月にはアコムに対して法令違反があるとして再検査。また、公認会計士3人が証券取引法違反で有罪になった中央青山監査法人に対して7月から8月までの法定監査業務の停止処分を出した。

このように金融庁や公取が強い姿勢で問題点を指摘し業務停止処分をするのは結構だが、どうして今まで何にもしなかつたのか、という疑問が出る。金融庁は不良債権処理に忙しかつたのか、大臣が竹中さんから与謝野さんに代わったことがあるのか。行政にも一貫した基本姿勢と徹底した監督・指導を望みたい。(阿)

我社の出来ばえは...

活況！教育ツール作品展

BERCの教育啓発ツール研究会が、7月24日、幕張のイオン本社で行われた。2年目の企画。

今回は、ポスターとツールの発表会Ⅱ写真Ⅱで、26社が参加し、各社から様々なツールが持ち込まれた。展示が始まると、会場の壁一面がポスターで一杯に

なり、壁面前の机上には、各社の行動規範などの資料が紹介された。

キヤノンは、ここ数年のポスターを展示し、コンプライアンス週間に使用した社内放送のCDも紹介。同社のポスターの表現内容の変遷を見てみると、当初は、「法を遵守する」という視点で作成されていたが、次第に、法を守るだけでは不十分で、自らの心構えや「自社らしさ」を訴える内容に変わっていったという。

ユニークなツールとしては、東京電力の現場で一人直接配布されるタオルがある。エンジニアだった田村滋美会長の提案で、汗をかき現場が一番喜ぶものとして取り上げたのがきっかけという。

会場の参加者は、皆、真剣な表情で、他社のツールを手に取ったり、携帯電話でポスターを写真に収めるなどしていた。また制作担当者からのアドバイスを熱心にメモどりしていた。

松下電器の池田氏報告

不祥事例研究会

BERCの不祥事研究会が、7月21日に東京・島根イン青山で開催された。

今回、扱われた事例は、松下電器産業のFF式石油暖房機事故のケース。松下からリスクマネジメント室室長の池田耕一氏が、今

回のトラブルに関する対応について発表、参加者からの質問に丁寧に答えた。

発表の後、4つのグループに分かれて討議し、各グループから討議内容について報告があった。

池田氏は、撤退を決定した後に事故対策を行うことの難しさなどを話し、「不祥事が起きた後にまた繰り返したら、取り返しがつかないことになる」と話す池田氏に、皆真剣な表情を見せていた。

また、第2日目には、鈴木由紀子氏(立教大学講師)による「企業倫理と企業文化について」の研究報告が行われた。



企業不祥事等の概要 (2006年7~8月に発覚した企業の主要不正行為等の一覧)

鹿島など	7月4日	武田薬品工業の工場建設工事をめぐり都内の建設会社などを受け皿に約9億円にのぼるリベートを支払っていたことが東京国税局の税務調査で分かった。
トヨタ	7月11日	RV車「ハイラックス」にハンドル操作ができなくなる欠陥があるのを知りながら約8年間リコールを怠り人身事故を引き起こしたとして熊本県警はリコール担当部長ら3人を業務上過失障害の疑いで書類送検。
水谷建設	7月12日	福島県いわき市の土地取引をめぐり約7億6千万円の所得隠しをし、法人税約2億円を脱税したとして東京地検特捜部は水谷功元会長を法人税法違反の容疑で逮捕。
日本経済新聞社	7月25日	社員が業務を通じて得た知識を使ってインサイダー取引をしたとして、証券取引等監視委員会がこの社員を証券取引法違反容疑で東京地検特捜部に告発、同日逮捕された。
中央青山監査法人	8月9日	カネボウの粉飾決算事件で旧経営陣と共謀して不正経理を行ったとして元公認会計士ら3人に有罪判決。
損保各社	8月11日	多数の不払い問題が起きた問題で、金融庁が再調査を指示。02年4月からの約3年間について改めて報告を求める。
岐阜県	8月22日	カラ出張などで組織的に巨額の裏金をつくり県職員組合などの口座に隠していたことが発覚。さらに9月1日にはプール資金問題検討委員会の発表で、県がつくった裏金は92年からの12年間で17億円にのぼることが明らかに。
アコム	8月23日	必要な書類を渡さずに貸し付けたり過剰貸し付け規制を不正に逃れたりなどした貸金業規制法違反の疑いで金融庁が再検査に。
ミットヨ	8月25日	外為法で規制される高性能な測定器を低性能と偽って輸出した不正輸出の疑いで警視庁公安部が調査。
社会保険庁	8月25日	国民年金保険料の不正免除問題で不正にかかわった職員約1800人を処分、うち百数十人を国家公務員法が定める懲戒処分である停職、減給、戒告にする。
パロマ工業	8月29日	21人の死者を出したとして経済産業省が同社製造のガス湯沸かし器に関して緊急回収命令。

合宿で集中討議 教育研究部会



第4回経営倫理教育研究部会(部会長・慶應義塾大学助教授・梅津光弘氏)が8月22日・23日の2日間、にわたって湘南国際村(神奈川県)にわたって合宿形式で討議を行っている。

第1日目の報告は、宮重徹也氏(富山商船高等専門学校)による「企業倫理と企業文化について」の研究報告が行われた。

また、第2日目には、鈴木由紀子氏(立教大学講師)による「企業倫理と企業文化について」の研究報告が行われた。

日本経営倫理学会の活動

奈川県葉山町)で開かれた本研究会は、経営倫理分野の発展に寄与する理論の体系化とそれを担う教育・研究者の育成に寄与することを目的としており、

また、第2日目には、鈴木由紀子氏(立教大学講師)による「企業倫理と企業文化について」の研究報告が行われた。

回顧随想 <17>
ライフ・ワーク
 としての経営倫理
 BERC会長 水谷雅一

前号で述べた「経営倫理士」の資格取得者は第9期の経営倫理実践講座の修了式が終わった本年8月2日現在で総計220名に達した。平成8年から9年間で200名を大きく超える経営倫理の

今や約50社近い。中には1社で13名(アコム)、9名(東電)、7名(資生堂・Dカード)、6名(三菱地所)、5名(アステラス製薬、ナイス、全農、UFJニコス、松下電工)など多くの経営倫理士を抱える企業がある。同じ企業の社員の中に経営倫理士の有資格者の仲間が存在することは、それだけで一つの勢力になり得るし、共通の学びを通じて得た専門家の仲間との交流がその企業の経営倫理実践の推進役として企業不祥事の抑止力につながる。これが期待される。

「企業絡みの不祥事の種類」

事とは各々の事件でその背景、理由、不正のやり方、対処の仕方、後始末など違った様相を呈している。とは言っても、ただ、一見して共通なのは、不祥事発生企業の組織の長が必ずといってよいほど会見でマスコミを通じて世間に謝罪する姿である。そのトツの謝罪が、真剣味に満ち溢れ、反省と改善に本

当につながるか否かは、その後の当該組織の対応次第ということになり、決して同一ではない。そもそも企業絡みの不祥事は多種多様で一概に論ずることは出来ないが、大別して2つの種類があると見えよう。それは企業の組織ぐるみで行われた不祥事と組織とは直接に関係なく、社員が個人的に惹き

最近、おもにスポーツのテレビ番組で「進化」ということばをよく耳にするようになった。「この選手の打撃は確実に進化していますね」のたぐいだ。気になるので国語辞典を開いてみる。

「生物が何世代もかけて形態や機能の分化・変異の過程を積み重ねながら、より環境に適した状態になること」(新明解国語辞典)

他の二、三の辞典にも当たってみたが大同小異である。僕がニュースとスポーツ以外にはあまりテレビを見ないものだから「おもにスポーツのテレビ番組で」と書いたのだが、他の分野では

多分こういう傾向あるいは流行はあまりないだろう。スポーツ番組は往々にして過剰に劇的な表現を用い、大げさな形容をする。それもとばが的外れでなければ大げさでも絶叫型でも我慢して音量を絞ってやり過ぎたら、実は一般の新聞にもあった。「新天地で進化(進化)ではないと思う。表現の言い替えはあつていい

いまだきビジネスマンは...
当世勤人氣質
 <17>

赤瀬川 隼

進化と進歩

読んだら 老けないコラム

加齢とともに、「目尻のシワが気になる」「たるみが...」とお肌の悩みは増えるばかりですね。皮膚という、ついこの間見た目が気になります。が、忘れてならない大切な機能があります。

皮膚の表面は弱酸性で、外界のばい菌侵入などを防ぐ。汗腺や毛穴による汗や皮脂の分泌、体温調節。また真皮層に点在する感覚点で、圧覚、温覚、触覚、痛覚、冷覚の5つを感じています。そして外用薬などの吸収作用、排泄作用、ビタミンD生成作用、免疫・アレルギーへの関与...、皮膚はとても働き者です。

こうした働きへの老化の影響は心配には及びませんが、汗腺や皮脂腺の減少で体温調節機能が落ちるので、日射病や脱水には、用心を。さて、いよいよ気になるシワやたるみの原因ですが、皮膚は「表皮」「真皮」「皮下脂肪」組織の3層構造で、加齢により表皮の「角質層」内の天然保湿因子(NMF)が減少、加えて皮膚の張りや弾力を保つ真皮の「コラーゲン線維」や「エラスチン線維」が減り、その間を満たしている水分保持

それが1年中降り注ぐ「紫外線」。紫外線のA波(UVA)は真皮まで到達し、コラーゲンとエラスチンの繊維を切断、変性させます。B波(UVB)はコラーゲン繊維を壊す酵素を活性化します。そこで紫外線を浴びると皮膚にハリがなくなり、単なる老化とは違う深いシワやたるみが出現するという事です。

映検に8千600人挑戦



合研究所の主催で、6月に第1回が行われた。クラスは4級(入門コース)、3級(初級)、2級(上級)、1級(達人)の四段階。ただし、1級は2級合格者しか受験できないので、初回は試験がない。映検事務局によると、全

問題がよく練られていることに、感心した。長年にわたって映画を丹念に見ている人でないと、合格(正解率70%以上)は難しいだろう。問題集やテキストは出題の傾向などを知らなければ役立つが、付け焼き刃は通用しづらい。問題もつと、そうでなくては検定の値打ちが下がってしまうのだ。

最新アニメまで作品の内容、監督、脚本家、出演者、キャラクターについての設問、さらに作曲家、製作者、振付家、タイトルデザイン、果ては米国の映画館数についてまで問われている。4択のマークシート方式とはいえ、難問が多く、かなりハード。

第2回の映画検定は、12月3日(日)。いよいよ、達人クラスの1級が登場する。「第1回映画検定過去問題集」「映画検定 1級公式問題集」が9月下旬に発売予定。さらに、盛り上がりを見せるか。(エッセイスト・服部 宏)

「企業不祥事等の概要」は、企業スキャンダル、不正行為を2ヶ月毎にまとめた「一覽表」にしてある。この表を見ると、企業不祥事が次々と発生している過程がわかる。事件の「発覚」から「捜査着手」「逮捕」「送検」「初公判」「判決」と、企業の不正が刑事事件化したケースの流れを追っている。また「行政指導」「行政処分」など監督官庁の動きにも合わせてまとめている。時には時代の流れを特色づける企業犯罪や、不祥事を多発する業界体質等を読み取ることも出来る。

折りからライブドア事件公判がスタート。初公判では堀江被告が無罪を主張、検察と真つ向対決。同被告は、かつて時代の「寵児」として若手経営者らのあこがれの的だったが、もはや「過去の人」とクールな見方も。経営倫理面からも注目され、その公判過程に関心が集まっている。(千賀)

シネマ談話室

検定ばりだ。昨年の「京都・観光文化検定試験」(京都商工会議所主催)あたりが呼び水になったものか。今や「こ当地検定ブーム」で、札幌、東京、金沢、奈良、

萩、津和野などで検定試験が行われている。そこへ新たに「参入」したのが、映検II映画検定。映画批評誌の老舗、キネマ旬報社とキネマ旬報映画総

検定 公式テキストブック

問題が、かなりハード。

おち とよこ

医療福祉ジャーナリスト

おち とよこ